

はじめに

本書は、英語科教育におけるスローラーナー指導のためのガイドブックです。一般的な教育書とは異なり、初めてスローラーナー指導に特化した構成となっています。

さて、新学習指導要領は、小中学校においてすでに全面実施を迎え、高校においては、次年度から年次進行で実施となります。これに伴い、日本中の先生方がさらなる授業改善に取り組んでいます。

では、実際にどんな授業が展開されているのでしょうか。

A先生の授業

このクラスは学習規律がとてもしっかりしています。でも、あれ？先生がしゃべりっぱなしです。学習者は、説明を受けてワークを解いて、答え合わせをして、終了？ そうですね、みんな目が死んでいますね。

B先生の授業

このクラスは、ゆるい感じがするけど、各自学び方を身に付けていて、協力しながら主体的に学習課題に迫っています。ところで先生はどこ？ えっ、そこにいたの！ 先生の存在感なし！ でも、何かいい感じ♪

これから目指す学びは、もちろんB先生タイプの授業です。

ところが、A先生タイプの授業もまだまだ見られます。今回の新学習指導要領の高度化は、アップデートを済ませた教師とそうでない教師の間に、こうした「指導格差」を生じさせています。

そして、この「指導格差」によって、多くのスローラーナーが生まれようとしています。

また、今の日本の教育は、「指導格差」の要因以外にも、以下のようにスローラーナーを生みかねない多くの要因を抱えています。

- ①新学習指導要領や評価方法の高度化に伴い、教師の「指導格差」に拍車がかかり、スローラーナーが生まれやすくなっている。
- ②小学校英語がスタートし、これまでよりも早い段階で「英語嫌い」が生まれやすい環境にある。
- ③「経済格差」によって生まれた「教育格差」が深刻な状況にあり、すでにスローラーナーが量産される社会情勢にある。
- ④スローラーナー指導のノウハウが十分に蓄積・共有されておらず、スローラーナーの増加に対応できない。

そんな状況にありながら、これまでスローラーナー指導の分野に光が当たることは少なかったように思います。このままだと、その扱いに困窮する学校や教師がますます増えるでしょう。

こうしたことから、スローラーナー指導の経験がある私が、本書の執筆に取り組むこととなりました。

本書が、英語学習につまずいている子供たち及びスローラーナー指導に悩んでいる先生方に少しでも寄与することを祈っています。

最後になりますが、執筆を助けてくれた上山晋平先生、全国のすばらしい先生方と私をつないでくださった谷口幸夫先生、執筆許可を出してくださった寛容なる青森県教育委員会、おそらく日本で最も楽しい教育委員会の一つ青森県教育庁東青教育事務所の上司・同僚の皆様、執筆中の私を支えてくれた家族（愛猫ニコを含む）、そして、常に的確な指示とアドバイスをくださった学陽書房の河野史香さん、これらすべての方々に衷心より感謝の意を表します。

2021年8月吉日

佐々木 紀人

CONTENTS

第1章 なぜ「スローラーナー指導」 が大事なのか？

- 1 そもそもスローラーナーって何？ 10
- 2 スローラーナー指導に取り組むようになったきっかけ 12
- 3 まずは学校や学習者の実態把握を！ 14
- 4 スローラーナー指導の残酷な現実 16
- 5 数字は言葉より重い 18
- 6 集団が自己調整し始める！ 20
- 7 2学期から前向きな変化が次々と見られるように！ 22
- 8 スローラーナー指導の成果 24
- 9 「個別最適な学び」とスローラーナー指導 26
- 10 教師間の「指導格差」が広がっている！？ 28
- COLUMN** やる気は5秒で伝染する 30

第2章 一人ひとりが伸びる！ スローラーナー指導法

- 1 スローラーナーに寄り添う心構え 32
- 2 「カウンセリングマインド」で信頼関係を築く 34
- 3 「Growth Mindset」で自己肯定感を高める 36
- 4 「小さな変容の見取り」で、前向きな学習者に 40
- 5 スローラーナーのほめ方 48
- 6 スローラーナーをその気にさせる一流のほめ方 50
- 7 スローラーナーの叱り方 52
- 8 スローラーナーをその気にさせる一流の叱り方 54
- 9 フィードバックを理解する 56
- 10 フィードバックを使いこなす 58
- COLUMN** アンガーマネジメントの活用 60

第3章

学習集団づくり& 具体的指導

学習集団づくり

- 1 理想とする「学習集団」をイメージしよう! 62
- 2 まずはグランドルールを制定する 66
- 3 「学級集団」を「学習集団」へ変える 68
- 4 スローラーナーが主役の授業 70
- 5 やんちゃなスローラーナーを輝かせる
ペア・グループ編成のコツ 72

モチベーション

- 6 元気がない 76
- 7 やる気がない 78
- 8 おしゃべりが減らない 80
- 9 勉強する意義を見出せない 82

4技能指導や学習方法

- 10 読めない 84
- 11 書けない 86
- 12 聞けない 88
- 13 話せない 90

- 14 単語が覚えられない 92
- 15 語順が身に付かない 94
- 16 家庭学習に取り組めない 98
- 17 テスト勉強に取り組めない 100

COLUMN ▶ ほめよ、日本の教師! 102

第4章

スローラーナーを 巻き込む技&クラスづくり

- 1 The 裏カリキュラム 104
- 2 ステルス・〇〇 106
- 3 休み時間プレミア 108
- 4 “目的・場面・状況”の優等生「えいごリアン」 110
- 5 スローラーナーを巻き込む指名 112
- 6 助け合う集団への意識改革
A Win-win Relationship 114
- 7 教師分身の術 116
- 8 裏技・小ネタの仕入れ方 118

COLUMN ▶ 授業を共につくる 120

1

そもそも スローラーナーって何？

勉強が苦手な子はスローラーナー？

スローラーナーという言葉ほど使いやすく、それでいて意味が曖昧な教育用語はあまりないですね。普通、スローラーナーといわれて思い浮かべるイメージは、「勉強の苦手な子」です。

ところが、スローラーナーという言葉のもつ響きは、教師の置かれた環境によってガラリと変わります。たとえば、ある学校では、発達障害が疑われる学習者のことです。また、ある学校では、問題行動を起こす学習者のことです。

この言葉が変幻自在に使われる一番の理由は、教師にとって都合のいい言葉だからです。「落ちこぼれ」のようなキツイ言葉を使うのは抵抗がありますが、スローラーナーだとオブラートに包んだような印象です。

しかし、スローラーナーという言葉の向こうには多様な存在があり、これを漠然と、しかも一括りで扱ったのでは、勉強ができるようになって必死にもがいている学習者に失礼ではないでしょうか。

となると、スローラーナーという言葉には定義が必要なはずですが、明確な定義がないのが現状です。

しかし、本書は、スローラーナー指導の手引き書ですので、まずは本書で用いるスローラーナーという言葉の意味をハッキリさせます。

本書が定義するスローラーナー

【本書におけるスローラーナーの定義】

スローラーナーとは、学習者・家庭・学校・教師・指導方法などの要因により、学習につまずいたり、学習を苦手と感じたりする学習者の総称である。そして、その存在は絶対的なものではなく、置かれた環境によって変化する相対的なものである。

「絶対的なものではなく、置かれた環境によって変化する相対的なものである」とはどんな意味でしょう。

小中学校では優秀な成績を取っていたAさんがいるとします。Aさんは中学校を卒業すると、地域では有名な進学校に入学しました。すると、周囲のレベルの高さにまったくついていけなくなり、スローラーナーへと転落しました。

実はこれ、私自身のことです。この経験から私が学んだことは、**学習者は誰もが、置かれた環境によってスローラーナーになり得る**ということです。

進学校にはスローラーナーがいらないと思ったら大間違いです。実は、進学校ほど成績の序列がハッキリするので、相対的にスローラーナーが発生しやすいのです。



スローラーナーとは学習を苦手と感じる学習者を指す！

4

スローラーナー指導の残酷な現実

◆ スローラーナー指導の現実

ここまで学力が不振を極めると、授業態度もそれはそれはひどいものでした。授業を抜け出す学習者。ワークシートを配っても、それをその場でビリビリと破り捨てたり、紙飛行機にして窓から外に飛ばしたりする学習者。ひたすらおしゃべりをする学習者。立ち歩きをする学習者。手鏡で自分の顔をひたすら見ている学習者。寝ている学習者…。

こうした通常では考えられない学習態度が、彼らにとっては当たり前の光景でした。

当時、学年で使っていた「授業の様子記録用紙」を見てみると、項目が次のようになっていました。

以下のケースに当てはまる場合は、該当箇所に丸を記入する。

- 私語が止まらず、他の生徒の邪魔となっている。
- 勝手に立ち歩く。
- 教師の指示に従わず、好き勝手なことをしている。
- その他、著しく授業を妨害している。

目に余る場合は、「3学年の授業対応について」に従って指導をする。

「3学年の授業対応について」とは、結局、家庭に電話をして、子供を引き取ってもらうことです。これがスローラーナー指導の現実です。

◆ 英語の授業がうるさいんですけど…

この手の施しようのない状況で、私がまず目指したことは二つあります。一つは、学習者がみんな着席した状態で授業を始めること。もう一つは、学習者の教師に対する敵視を解消することです。

着席に関しては、私には「休み時間プレミア」（第4章3を参照）という得意技があります。今習っている言語材料と関係のある歌や動画を休み時間に流す手法です。これがこなれてくると、みんなで英語の歌を大声で歌ったりするなど、実にいい状態で授業に入ることができます。

ところが、荒れた学校というのは、「節度のある楽しみ方」ができません。せっかくの楽しい雰囲気も、気分がハイになりすぎて奇声を上げたり、授業が始まって「もう一回曲を流せ！」と騒ぎ立てたり、授業どころではありません。

そうしているうちに、隣で授業をやっている先生から、「いつも英語の授業がうるさいんですけど」と嫌味を言われるようになる始末…。

◆ 遠く離れた会議室へ引っ越すも…

私は、收拾がつかない状態になりかけていたことを反省し、1階にあった3年生の教室から、うるさくても周囲に迷惑のかからない3階奥の会議室に移動して授業をすることにしました。

ここなら誰にも迷惑がかからない。大声で歌っても、ゲラゲラ笑っても大丈夫。うれしいことに、問題を起こしがちな学習者たちも、「休み時間プレミア」目当てで遅れずに授業に来るようになっていました。

ところが、また新たな問題の発生です。会議室だと机の配置が普段と違うため、みんな自分勝手に好きな者同士で並んで座り、おしゃべりばかりしてまったく授業にならないのです。

内心、会議室で学習規律を整えながら良好な人間関係を築き、いずれはもともといた1階の教室に“凱旋帰国”しようと考えていた私の目論見に、早くも暗雲が立ち込めました。

8 スローラーナー指導の成果

スローラーナーの変容で結果が出る！

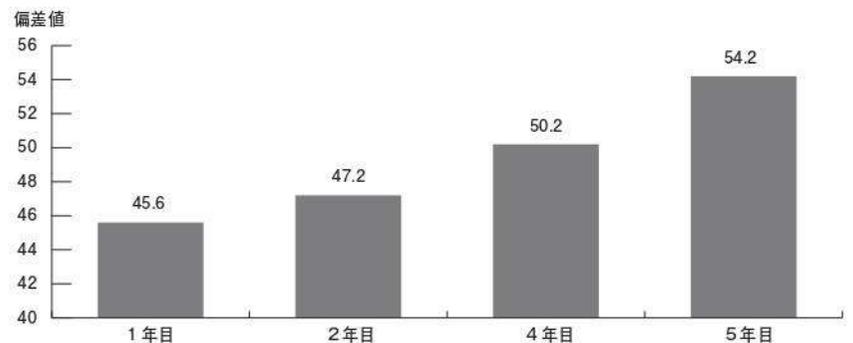
結局、この学年の子供たちは大きく変容し、高校受験において、その学校の過去10年間のどの学年よりも優秀な成績を取めました。

そして、難関校合格も含め、全員が進路希望をかなえるという快挙を成し遂げました。その躍進を陰で支えた要因の一つが、英語の成績の伸びであったことは、私のわずかな誇りとなっています。

このグラフは、私が受け持った3学年のNRTの結果の推移です。

塾の宣伝などで見る「偏差値30アップ」とまではいきませんが、年々、ジワジワと学力を向上させることができました。

3学年の成績推移



※3年目は3学年の担当はなし

次の数値は、私がこの学校で最後に教えた学年の数値です。

この頃になると、学習規律は浸透し、学びはすべて自動化され、毎時間の授業が楽しくてしょうがない夢のような日々でした。

青森県学習状況調査結果

設定通過率	55.5%
県平均	55.2%
地区平均	58.0%
校内平均	67.4%

スローラーナーが教えてくれたこと

学校を変えるため、血のにじむような思いで取り組んだスローラーナー指導でしたが、結局、多くのことを与えてもらったのは、他の誰でもない私でした。

あんなに荒れた学校にいた子供たちでも、学ぶことの大切さに気付き、医師になろうとしている子、英語を使って世界を相手にビジネスをしようとしている子、学校の先生になってスローラーナーを救おうとしている子など、実に多くが変容しました。

また、スローラーナー指導で培ったスキルは、「英語嫌い」以外の学習者にも極めて有効で、そのスキルによって、その後、多くの子供たちを「英語好き」にすることができたと思っています。

あのとき、私につらく当たった同僚も、本当はスローラーナーのことを何とかしたかったのではないのでしょうか。

でも、それが思うようにならず、あのような態度になってしまったのだと今は理解しています。

結局、スローラーナー指導のスキルを習得しておかないと、子供も教師も、みんなが不幸になる可能性があるということなのです。